SAKAI

広報さかい

茨城県境町
2018
1
No.612

祝 新成人 感謝

目　次

02 新春のご挨拶
04 成人式
06 境達磨市
07 情熱境
08 境町児童アルゼンチンへ
12 道の駅さかい売上報告

平成30年

新春のご挨拶

Happy New Year

あけましておめでとうございます。平成30年が幕を開けました。町長をはじめとする各団体の代表者の皆様の新春のご挨拶を紹介します。今年は戌年ということで、町民の皆様にとってワンダフルな１年になることをご祈念申し上げます。

謹賀新年

いきいき輝く新年に向けて

境町長
橋本　正裕

新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成三十年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。昨年は町政全般にわたり、深いご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年の境町は、ふるさと納税など色々な取組によって全国から注目を集めた年となりました。今年もふるさと納税寄付額県内1位を目指し、そして全国から注目されるようなまち、境町に住みたくなるようなまちとなるよう、取り組んでまいりますので、どうぞ本年も、より一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

この新しい年に向けて、境町では英語教育に注力いたします。昨年の9月からモデル校の境小学校で授業を開始しております。本事業では、フィリピンから英語の講師を迎え、毎日英語に親しむ授業を行います。境町で義務教育を終えると、英語で3分間のスピーチができる英語力が身に着く、という取組になります。このような取組は全国でも珍しく、埼玉や群馬などの近隣の自治体から、「境町モデル」の英語教育を取り入れたいと、視察のご要望を頂くなど、先進的な事業という評価をいただいております。２０２０年のオリンピック・パラリンピックや、平成32年からの学習指導要綱の改定により、小学校での英語教育の導入に向け様々な自治体が試行錯誤をしている中で、境町の英語教育が全国に向けたモデルとなれたらという思いでおります。

少子高齢化の進む時代、地方創生の重要さに焦点が当たり、様々な取組が地方で行われてまいりました。本年も境町では、子育て支援の充実や移住定住政策などの、人口減少対策や、空き家対策と地域経済の活性化など、住民の利便性や経済の振興、圏央道を活用した企業誘致など、雇用の創出のほか、健康推進事業といった様々な取組を行い、誰もがいきいきと長生きできるようなまちとして、この地域が発展していくようしっかりと努力をしてまいります。住民の皆様、近隣の皆様におかれましても、境町を応援していただいて、茨城の、この県西地域から地域がよくなっていくよう、より一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって輝かしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

期待される議会を目指して

境町議会議長
倉持　功

明けましておめでとうございます。境町議会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

国から地方への権限移譲が進み、地域の自主性や自立性が求められる昨今、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しております。

我々議会は町民の皆様の声を傾聴し様々な需要や課題を把握し、町行政施策に反映させる責務を担うと共に、皆様に最新の情報をお伝えすることで、一人でも多くの方が町行政施策について、ご理解と関心を深めていただけるよう常日頃から努力を重ねております。

今後も町政監視機能及び政策立案機能の充実・強化に努め、開かれた分かり易い議会、期待される議会を目指して、暮らしの向上と幸せのために、全力を傾注してまいります。

輝かしい新年に向けて

境町商工会会長
池上　仁

新年明けましておめでとうございます。昨年は、町・議会のご理解とご指導等により「ふるさとクーポン」事業を展開し、5日間で完売しました。町民（消費者）と商工会（事業者）に少なからず貢献できたものと感謝しています。

今年も町・議会・関係者とご相談の上、実施出来れば幸いと思います。

この様な事業が一つのきっかけとなり、私達を育んでくれました郷里の発展等に寄与する事は、境町商工会に最も重要で必要な事と思います。

さて、来年は元号が変わる歴史的な年でもあります。この新しい元号に向かって、今年は一歩一歩力強く皆様と共に歩みたいと祈願致します。

更なる河岸のまちづくりへ

境町観光協会会長
野口　富太郎

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

平成も早30年となり、今年は新元号も発表されるなど、激変の年になると感じております。

平成26年に境町観光協会会長に就任して以来、まもなく丸4年が経過いたします。

就任時より、「河岸のまちづくり」をテーマに将来を見据えた観光振興施策を進めております。

本年につきましても、「さかいふるさと祭り」をはじめ、数多くのイベントが予定されております。

境町の観光が元気で明るく輝くよう努めてまいりますので、町民の皆様には一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

住んでよかったといわれる福祉へ

境町社会福祉協議会会長
仲村　敏明

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。又、皆様には平素から社会福祉協議会の運営にいろいろとご協力、ご支援いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、多年にわたり、境町の発展に貢献されてきたシニア世代の皆さんを対象に「第2回いきいき福祉大会」を境町、境町いきいきクラブ連合会との共催により開催いたしました。このようないきいきクラブ連合会の日常活動や会員増強の功績が認められ、昨年は全国の老人福祉大会で厚生労働大臣から表彰もされました。

年々、少子高齢化が進む中で子育て支援や介護サービスの充実は大変重要です。この町に住んでよかったと言えるよう福祉の向上に努めてまいりたいと考えていますので、今後ともよろしくお願い致します。

成人式運営委員の皆さんに成人の抱負を伺いました！

式典司会・進行
須長舞（すながまい）さん（若林本田）

親に感謝するとともに、これまで以上に仕事を頑張りたいです。祖父が今日の日をとても喜んでくれました！

式典司会・進行
湯本皓大（ゆもとこうた）さん（西泉田）

人のために尽くせる人間になりたいです。祖父母、両親、兄弟、家族みんなにありがとうを伝えたいです。

開式のことば
青木菜緒（あおきなお）さん（松岡町）

恩師のように、人に憧れられる大人になりたいです。成人を迎え、親に感謝の気持ちでいっぱいです。

来賓紹介
倉持咲菜（くらもちさな）さん（若林蓮台）

看護師になる夢を目指し大学で勉強しています。働き始めたら、親にしっかり恩返しをしていきたいです。

祝 新成人

大人の自覚を胸に 301名の新成人が誕生

1月7日（日）、境町中央公民館において、成人としての新たな旅立ちを祝う「平成30年境町成人式典」が開催され、華やかな晴れ着やスーツ姿の205人が恩師や旧友との再開を喜び合い、大人の第一歩を踏み出しました。平成30年の境町の新成人は、男性163人、女性138人の合計301人。

新成人が生まれた平成9年4月2日から平成10年4月1日までの主な出来事として、11月にサッカー日本代表がワールドカップ本戦への初出場を決めたほか、平成10年2月に郵便番号の7桁化、長野オリンピック開幕・3月に長野パラリンピック開幕などのニュースが話題となりました。

また、町内では7月に高瀬舟さかい丸が就航、9月にふれあいの里グラウンド・ゴルフ場が完成するなど様々な事業が行われました。

式典では、橋本町長を始め、多くの来賓の方々が参列され、お祝いの言葉を述べられました。

式典後は会場を役場4階に移し、豪華商品が当たる抽選会が行われ、新成人の皆さんは大いに盛り上がりました。

ピアノ伴奏の石塚悠莉（いしづかゆうり）さん

成人式運営委員の皆さん

境二中恩師・小暮（こぐれ）誠（まこと）先生による贈る言葉

境一中恩師・落合（おちあい）剛（つよし）先生による贈る言葉

新成人へ激励の言葉を述べる橋本町長

謝辞

成人式運営委員
野口（のぐち） 浩輔（こうすけ）さん

私たちは本日成人として、人生におけるひとつの区切りを迎え、その喜びの中、大人への一歩を踏み出していきます。しかし、同時に、社会からは一人前とみなされ、私たちの行動、発言は今まで以上に大きな責任を負うことになると思います。

私たちのなかには社会に出て働いているものも、学業に励んでいるものもいます。置かれた状況に違いはあれ、それぞれ今日から一人前の成人として周囲からは見られることになります。さらに今後成人を迎える後輩たちの手本となることも求められます。そのために、成人としての自覚や常識とは何であるのかを常に考え、一つ一つの言動に責任を持って成長していけるよう努力してまいりたいと考えておりますので、これからも皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びとなりますが、新成人としての決意を固く胸に刻み、今まで支え、育ててくださった両親をはじめ、家族、恩師、地域の方々、温かく見守ってくださった全ての方々に心から感謝の意を表し、謝辞といたします。（一部抜粋）

閉式のことば
富張（とみはり） 楓（かえで）さん（旭町）

これまで心配をかけてきた親に感謝し、小中高の恩師のような、人に憧れられるような大人になりたいです。

謝辞
野口浩輔（のぐちこうすけ）さん（陽光台）

家族や高校の恩師に感謝し、恩返しできるように頑張りたいです。これからも境町に住み続けたいです。

祝電披露
岩井友里奈（いわいゆりな）さん（陽光台）

受験勉強や大学進学など、支えてくれた親への感謝を忘れず、残り二年の学生生活も頑張りたいです。

県知事メッセージ
森（もり） 侑亮（ゆうすけ）さん（宮本町）

これからは、成人としての責任を果たし、これまで育ててくれた親やお世話になった人へ恩を返したいです。

祝電披露
宮城善枝（みやしろよしえ）さん（元・長井戸）

美容師になる夢のために、一期一会を大事にこれからも人に笑顔を届けられるような人になりたいです。

おめでとうございます

町では、撮影用のフォトプロップスや額縁、和傘など撮影アイテムを用意して、新成人の皆さんの門出をお祝いしました！

式典に参加した新成人全員での記念撮影

杜このみさんの境町後援会役員がステージに登壇し、橋本町長より達磨の贈呈が行われました

杜このみさんスペシャルステージ

杜このみさんの名曲「残(のこ)んの月」では、若柳和妙（染谷勝子）さんの演舞も披露されました

満員御礼の杜このみさんのステージでは、新曲「くちなし雨情」と「函館夜景」が初披露されました

キレのあるダンスとキュートな歌声が印象的なダンスボーカルユニット「LOVEACE（ラヴィース）」

だるまを買って大願成就！ 約１万人が来場！

第25回 境達磨市

1月7日（日）、役場前通りにて新春恒例の「境達磨市」が開催されました。

早春の境町を飾る風物詩として、達磨の販売はもちろん、露店や地元商店のテントが立ち並び、多くの来場者で賑わいました。

今年も婦人会、商工会女性部、商工会青年部の皆さんにより行われた豚汁や甘酒、おしるこの無料提供も大盛況となりました。

また、「境スタンプ会抽選会」や「ふるさと納税感謝祭抽選会」には長い行列ができました。今年初開催となった「さかい肉-one グランプリ」では、肉を使用した商品を提供する10店舗が出店し、お客様による投票の結果、〝ローストビーフ丼〟を販売した「道の駅さかい」が、見事優勝に輝きました。

ステージイベントでは五ツ輪会やLOVEACE、ワイズペップ、境高校吹奏楽部等が出演し、会場を盛り上げました。

また、昨年11月に境町観光親善大使に就任した杜このみさんのステージは、当日一番の盛り上がりとなり、総来場者数は昨年の約2倍の約1万人となりました。

抽選会

大行列となった子供ジャンボガラガラ抽選会と満点カードで参加できる境スタンプ会抽選会

各種ステージ

太鼓や大道芸、マジック、ダンス、吹奏楽、歌等、様々な出演者がステージを盛り上げました

多くの来場者で賑わう会場

さかい肉-one グランプリ

さかい肉-one グランプリで優勝した道の駅さかいの皆さん

ステージの司会進行を務めた高校生スタッフの皆さん

境町への感謝を叫び見事優勝した斎藤芳樹(よしき)さん（写真中央）

「花咲オーシ」さんの即興書下ろしでは、「感動して涙が出ました」との声も！

商工会青年部による餅つきが行われ、おしるこが振る舞われました

第18回

境情熱

JOUNETSU-SAKAI

境町を代表する画人 中山正男（なかやままさお）

青空のように何事にも全身全霊で打ち込む

情熱「境」では、境町在住・出身の方等で、芸術、音楽、スポーツ等、様々な分野で活躍されている方を紹介します。第18回は、境達磨市のポスターや境町のマンホールのデザインを手がけており、高名な日本画家として知られる「粛粲宝」氏の唯一無二の弟子である中山正男さんにお話を伺いました。

◎新春の風物詩に欠かせない達磨絵

町の新春恒例行事でもある「境達磨市」が近づくと、町中に達磨のポスターが貼られます。その達磨絵を初回より25年間ずっと描いてくださっているのが中山正男さんです。

境町で使用しているマンホールも、中山さんがデザインされたものです。30年前の第二回ふるさと祭りで使用されたうちわのデザインから活用されたもので、かつては木琴橋だった境大橋や利根川、町の花であるカンナ、筑波山等、関宿側から見た境町の風景が描かれています。

マンホールの見本

◎6歳より画業を志す

「感動したものを描くだけ」と中山さん。境町の時計・眼鏡商「幸松屋」の次男として生まれ、6歳の頃には画業を志していたそうです。小学生で県知事賞を受賞するなど、幼少の頃より絵の才能に秀でていました。10代より宇都宮の時計商のもとで時計技師として働きながら油絵に打ち込み、東京都美術展で度々の入賞を果たし、美術家団体「三軌会」会員となり画人としての腕を磨いていきました。

◎生涯の師・粛粲宝氏との出会い

中山さんが23歳のとき、父親の発病を機に境町に戻り、家業を継ぎますが、25歳のときに生涯の師ともいうべき日本画家・粛粲宝氏の作品に出会います。師は、中山さんを「知友（＝互いに心の底まで理解しあった友人）」と呼びます。雅号「胡牀庵・青空子」は、青空のように何事にも全身全霊で打ち込む中山さんをたとえて粛粲宝氏が命名されました。

中山さんの作品は、全身全霊で描かれた力強さと、深いメッセージが込められた「篆刻印」が特徴であり、中山さんご自身の魅力そのものです。

篆刻師としても活躍めまぐるしく、今上天皇の即位の礼献上品として宮内庁より選ばれました

粛粲宝氏の作品を数多く所蔵しています。ここで使用されている篆刻印も、中山さんが制作したもの

県知事賞受賞の花器

陶芸は、50歳のころの大病がきっかけで、生涯続けられる手仕事として開始。4年がかりで窯場を建設し、志野（しの）焼に打ち込む

【略　歴】

◆中山正男（なかやままさお）

昭和15年4月境町生まれ、境町在住。時計・眼鏡商「幸松屋」店主であり、日本画家、陶芸家、篆刻師。昭和40年粛粲宝に師事。のちに粛粲宝師より雅号「胡牀庵・青空子」を賜る。平成2年に今上天皇の即位の礼献上品として篆刻印作成。ドイツ「シーボルト博物館」や銀座「鴨居堂」等で展覧会を行う。4月につくば夢ギャラリーに出展予定。

境町×アルゼンチン　国際友好交流

境町小学生 12 名を アルゼンチン共和国へ派遣

地球の裏側！日本から約２万キロ

テマイケン動物園での記念撮影

地球の裏側でのあっという間の10日間

町では、11月16日から25日までの10日間、境町の小学校の代表児童12名をアルゼンチン共和国へ派遣しました。

この派遣事業は、１９３３年より80年以上交流の続いている長田小学校とアルゼンチン共和国とのつながりをより深いものとするために、昨年度に引き続き２度目の実施となります。

今年度は、長田小の児童だけではなく、町内５校全ての小学校から希望者を募り、長田小６名、境小２名、猿島小１名、森戸小２名、静小１名の合計12名の児童がアルゼンチンへ渡航しました。

現地では、エスコバル日本語学校、日亜学院、ハポン小学校、サンミゲル学校の４つの学校や茨城県人会などを訪れ、アルゼンチンの子どもたちとの交流を通してアルゼンチンの文化を肌で感じました。

また、アルゼンチンの首都であるブエノスアイレスの市内観光では、大聖堂や大統領府（カサ・ロサダ）、カミニートなどの名所を見学し、アルゼンチンの歴史を学びました。

派遣中、児童たちは、アルゼンチンの家庭でのホームステイを行い、ホストファミリーの方々と過ごすことで、日本とアルゼンチンの生活様式の違いも体験しました。

今回のアルゼンチン派遣事業を通して、参加した児童たちは、地球の裏側のアルゼンチンの文化や歴史を自らの目で見て、肌で感じるという貴重な経験をすることができました。また、長田小とアルゼンチンとの交流の歴史の偉大さを再確認できた有意義な事業となりました。

今後はこの素晴らしいつながりを町全体へと広げ、より多くの子供たちをアルゼンチンへ派遣できる環境づくりに努めていきます。

アルゼンチン　プチ情報

- 日本からアルゼンチンまでの道のりは約２万キロ（地球の外周の半分）
- 飛行機で 24 時間（乗り継ぎを含めると 30 時間）
- アルゼンチンの広さは約 278 ㎢（日本の約 8 倍）
- 人口は約 4,036 万人（日本の 3 分の 1）
- 主食はアサードなどの肉料理
- サッカー大国でありマラドーナやメッシなどを輩出

photo gallery　アルゼンチンでの思い出

創立 90 周年記念祭を開催していた日亜学院のステージで、歌を披露した児童たち

訪問先の学校で、パワーポイントを使用し境町の紹介を行った児童たち

世界で 2 番目に美しいと言われるレコレタ墓地を見学

レストランでの食事風景

お世話になった茨城県人会の皆さんと記念撮影

現地の子どもたちとスポーツで交流

アルゼンチンの主食である肉料理

交流の記念品として富張氏の木版画を寄贈

エスコバル日本人学校の皆さんと記念撮影

ホームステイ先のホストファミリーの皆さんと記念撮影

仲良くなった友達との別れを惜しむ児童たち

一緒にダンスを踊り交流する児童たち

現地メディアの取材の様子

topics　2020 年東京オリンピック・パラリンピック アルゼンチン選手団事前キャンプ誘致活動

アルゼンチンで要望活動！

TOKYO OLYMPICS 2020

アリシア・マッソーニ オリンピック委員会副委員長（写真中央）への要望活動

ホセ・ガルシア・マニョン スポーツ教育局長（写真中央）への要望活動

町は、かねてから交流のあるアルゼンチンとの交流計画を定め、平成 28 年 6 月に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして国から登録が認められています。

今回の境町小学生のアルゼンチン派遣事業に併せて、斉藤議員、須藤議員、増田教育長が、アルゼンチンオリンピック委員会及びスポーツ庁を訪問しました。

訪問先では、アリシア・マッソーニ オリンピック委員会副委員長やホセ・ガルシア・マニョン スポーツ教育局長と面会し、町長からの親書を手渡すとともに、2020 年東京オリンピック・パラリンピック時のアルゼンチン選手団の境町への誘致に向けた要望活動を行いました。

●長田小５年　関（せき） さくら

アルゼンチン派遣事業に参加して

私は、十日間アルゼンチンに行って、たくさんの事を学び、たくさんの思い出が出来ました。

最初に、エスコバル日本語学校を訪問しました。そこでは、お互いに自己紹介などをしました。私達は、「サンバ・デ・ミ・エスペランサ」を歌い、その後、一緒にアルゼンチンのダンスを踊ったり、鬼ごっこや卓球を楽しんだりしました。

日亜学院では、九十周年のお祭りをやっていて、私達は雑誌の取材も受けました。また、私は五年生の教室で、一緒に授業を受けました。スペイン語が分からないときに、クラスの子がジェスチャーなどを使って教えてくれて、とてもやさしく親切にしてくれました。

お世話になったホームステイ先では、女の子とすぐに仲良くなり、とても楽しく遊びました。

今回のアルゼンチン派遣事業で、貴重な体験をたくさんすることができました。そして、アルゼンチンでの体験をみんなに伝えて、自分の生活にも生かしていきたいです。

本当にありがとうございました。ムーチャスグラシアス。

日亜学院での交流ダンス

●長田小５年　片倉（かたくら） 未依奈（みいな）

アルゼンチンでの思い出

私が一番に心に残った事はホームステイです。スペイン語はあいさつぐらいしかわからないので不安でいっぱいでしたが、ジェスチャーを使い会話する事ができました。四回目のホームステイでは、スペイン語の分からない私達に、アルゼンチンの人達はきちんと話を聞こうとしてくれてやさしいなと思いました。各家庭の料理はとてもおいしく、名前入りのクッキーを頂いた事がとてもうれしかったです。

日亜学院には二度、訪問しました。一度目の訪問では、巻きずしを頂きました。当日は文化祭があり、生徒達が太鼓を演奏していて驚きました。

また二度目の訪問では、マテ茶やアルファボールというアルゼンチンのお菓子の作り方を教えてもらいました。休み時間には鬼ごっこをして楽しかったです。

六日間、アルゼンチンで過ごした時間は、本当にあっという間でした。アルゼンチンでは、とても貴重な体験をたくさんさせて頂き、もう一度アルゼンチンに行きたいなぁと思いました。そして私が体験した事を、たくさんの人に伝えていきたいです。

日亜学院で食べた巻き寿司

●長田小５年　斉藤（さいとう） 秀葵（しゅうき）

アルゼンチン共和国派遣事業で学んだこと

僕は、アルゼンチン共和国派遣事業を通して、印象に残った事が三つあります。

一つ目は、一回目のホームステイの家の近くには、八百屋、肉屋、パン屋さんがありました。八百屋では、見た事もない野菜がたくさんありました。肉屋では、とても大きい肉のかたまりがありました。パン屋では、いろいろな形のパンがありました。

二つ目は、テマイケン動物園での事です。特に鳥の数が多く興奮しました。見ることができてよかった鳥を一位から四位に並べると一位オニオオハシ、二位ヒクイドリ、三位カンムリヅル、四位タンチョウです。この動物園では、まだまだ知らない鳥がいたので、もう一回行きたくなるぐらい自分にとっていいところでした。世界中の不思議な鳥をもっと知りたいと思いました。

三つ目は、アルゼンチンの人たちのことです。アルゼンチンの人たちは、あいさつをすると必ず返してくれました。日本と同じでほっとしました。

これからも、他の国にも目を向け、がんばってお金をため、いろいろな国に行ってみたいと思います。

テマイケン動物園には様々な鳥がいました

派遣児童感想文

※一部抜粋

●長田小６年　野村（のむら） 愛莉（あいり）

アルゼンチンへ行って

エスコバル日本語学校は、初めての学校訪問だったので緊張していましたが、みんな温かく歓迎してくださいました。一緒にダンスをおどったり鬼ごっこや卓球をしたり、とても楽しい時間を過ごしました。

次に日亜学院では、去年長田小学校を訪問してくださった高校生が私達を歓迎してくれました。私たちがアルゼンチンへ行って再会できた事が、すごくうれしかったです。

滞在中は二度のホームステイをさせてもらいました。二度目のホームステイでは、日本語が分からないお宅だったので不安でしたが、ゲームをしているうちに、一緒に笑うことができ、お互い言葉が分からなくても友達になれるんだという事が分かりました。私にとってホームステイは、とても貴重な体験になりました。

アルゼンチンに行ってみて、たくさんの貴重な体験をすることができました。見た物、食べた物、たくさんの人たちとの交流、この経験を生かして、2020年の東京オリンピックの時に何か役に立てたらいいなと思っています。

おみやげに日本の煎餅などを贈呈

●長田小６年　津佐（つさ） 昭道（てるみち）

アルゼンチン共和国派遣事業に参加して

ぼくが一番心に残ったアルゼンチンの歴史を紹介します。それは、ピンクハウスという建物です。名前の由来は、建物全体がピンクにぬられているからです。昔は、ピンクという色が無くて、たくさんいた牛の血と、石灰をまぜてピンクを作ったそうです。ぼくは、ピンクハウスを目の前で見ることができ、とてもすごいと感じました。

次に食事についてです。アルゼンチンでは、肉料理、パンなどの食事がメインでした。肉料理でおいしかったのは、アサードという肉料理です。牛肉を揚げたものと、マッシュポテトのようなものがありました。

次にホームステイのことです。ホームステイ先の人は、とても優しくしてくれ、初めてのホームステイでこんなに楽しかったのがとてもうれしかったです。

最後に、アルゼンチンへつれていってくださった方々、本当にありがとうございました。この思い出や、周りの人々の優しさ、学んだことを生かして、将来に役立てたいです。

ピンクハウスと呼ばれる大統領官邸

●長田小５年　舘野（たての） 穂香（ほのか）

楽しかったアルゼンチンとの交流

アルゼンチン交流を通してうれしかったことが三つありました。

一つ目は、アルゼンチンの友達がたくさんできたことです。ホームステイ先で５人の友達が出来て、日亜学院では６人できました。校内を案内してくれたり、作業の説明をしてくれたりととてもやさしく、明るい友達でした。

二つ目は、アルゼンチンの人たちは裏側にある日本のことを良く知っていることです。日亜学院では、「和太鼓」や「盆踊り」を披露してくれました。日本でも、アルゼンチンのことを学ぶ機会をもっとつくってほしいです。

三つ目は、アルゼンチンの街なみや生活を実際に見られたことです。特に「カミニート」が印象に残りました。家がカラフルで日本では見られない建物でした。

アルゼンチンの人たちはみんなやさしく、日本のことを大事にしてくれていることが分かりました。見学した場所以外にもたくさん行ってみたいです。日本の良さをたくさん教えて、長田小や境町との交流をもっと深めたいです。

カラフルな街並みが印象的な「カミニート」

●猿島小６年　山本（やまもと） 凛（りん）

アルゼンチン派遣事業に参加して

アルゼンチンは日本から30時間（飛行機の移動時間は24時間）という遠い国で、最初は少し不安もあったけど、一緒に行った境町の友だちと協力して、とても楽しい思い出ができました。

アルゼンチンでは、エスコバル日本語学校、日亜学院、ハポン小学校、サンミゲル校の四つの学校を訪問し、授業を受けたり、一緒に歌ったり、おどったり、スムージーを食べたりして現地の小学生と交流をしました。最初は、言葉も通じないし、緊張もしましたが、幼稚園の頃から参加しているスポーツ教室やキャンプの三つの「安全ルール」①「身体の安全」、②「環境の安全」、③「心の安全」をしっかり守って、積極的にアルゼンチンの小学生と交流することができました。

今回のアルゼンチン派遣事業に境町の小学生代表として参加できたことは、たくさんの友だちや体験が出来ただけでなく、仲間と協力することの大切さや、外国の小学生と交流することの難しさ、楽しさを知る、とても貴重な経験だったと思います。今回のアルゼンチンの沢山の思い出と経験を活かし、これからも頑張っていきたいと思います。

ホームステイ先の家族と記念撮影

●境小５年　佐々木（ささき） 隆光（たかみつ）

アルゼンチン派遣事業に参加して

ぼくは、この派遣事業に参加して、初めての飛行機、初めての海外、初めての海外ホームステイ、沢山の初めてを経験してきました。

飛行機は、すごく時間がかかったけど、ずっと楽しくて、全然たいくつしませんでした。

アルゼンチンに着いてからは、現地の学校訪問をしました。日亜学院という大きな学校では、ニッポンマニアというお祭をやっていました。ぼく達は、そこでサンバ・デ・ミ・エスペランサを歌いました。境町の小学校紹介の発表もしました。

不安なホームステイでも日本語が少し通じて安心しました。ホームステイ先では、たくさんのお土産をもらいやさしくしてもらいありがたかったです。現地で飲んだマテ茶はとても苦く、日本で飲んだマテ茶と全然違いました。

ぼくは、アルゼンチンの良いところを、沢山教えてもらいました。今度、東京オリンピックなどで日本に来てくれた時に、ぼくも、沢山のおもてなしをしておかえししたいと思います。

神秘的な雰囲気の大聖堂

●境小５年　倉持（くらもち） 雄樹（ゆうき）

アルゼンチン派遣事業に行って

境町を出発して、まず成田空港へ高速バスで行き成田の飛行機でダラス空港への十二時間の長旅が始まりました。

ダラス空港で夕ご飯を食べて飛行機に乗ったら、五時間もの間、機体のトラブルで離陸できませんでした。とちゅうで体調をくずして、病院へも行きましたが、アルゼンチンについてからは無事みんなと合流し、いっしょに交流活動をすることができました。

次の日、茨城県人会のみな様にかんげい会を開いてもらい、チョリパンやエンパナーダを食べました。ブエノスアイレスに移動してからは、日亜学院の文化祭にいってサンバ・デ・ミ・エスペランサをみんなで歌いました。

おみやげを買ったフロリダ通りでは、食べ物、小物、洋服などあらゆるお店がそろっていました。

最後に、派遣事業で一番楽しかったことは、向こうの子供とサッカーやゲームなどで遊んだことです。

ぼくはこのアルゼンチン派遣事業に参加してすごくいい思い出ができました。

茨城県人会の皆さんによる歓迎パーティー

派遣児童感想文　※一部抜粋

●静小５年　石井（いしい） 香帆（かほ）

十日間の宝物

アルゼンチンで一番、心に残っているのは「学校訪問」と「ホームステイ」です。その中でも印象的だったのは、「日亜学院」です。創立九十周年をむかえ、記念祭を行っていました。日本の着物、書道や太鼓などを披露しており、書道は日本人の私より上手でびっくりしました。日本の文化をこんなに大切にしてくれているなんてうれしかったです。また、日亜学院では図画工作と算数の授業に参加しました。

ホームステイは四回しました。ホストファミリーとはスペイン語でコミュニケーションをとることができました。食事はおいしいお肉とマテ茶、お味噌汁も作ってくれました。アルゼンチンの友だちもたくさんできました。

言葉も食事も生活スタイルも花も、日本とは違いましたが、町も人も茨城県人会の方もホストファミリーもみんなあたたかかったです。「アルゼンチンに行きたい」と願い、それが現実となり、参加できたのは、家族や先生方、一緒に行った仲間、境町の方など沢山の人に支えられて実現できたことだと思います。私にとって、とても充実した時間、この十日間は宝物となりました。

スペイン語での注文も経験しました

●森戸小６年　中村（なかむら） 隼人（はやと）

アルゼンチン共和国派遣事業に参加して

僕は、外国に行くのも初めてで、何もかも初めてのアルゼンチン派遣事業でした。アルゼンチンに着いて思ったことは、広い道路と広い空でした。空気がとても乾いていました。

それから僕達は、アルゼンチンの各学校を訪問しました。たくさんの人の前で、境町の学校紹介を一人ずつ発表したり、サンバ・デ・ミ・エスペランサを歌いました。とても良い交流ができました。アルゼンチンの方と沢山ふれあえたことで僕も成長できたと思います。

また、ホームステイでは、二つのファミリーのどちらとも、とても親切にしてくれて楽しく過ごせました。

それと、アルゼンチンの食べ物は、とてもおいしかったです。その中でもビーフカツは、僕の顔の大きさぐらいありました。日本は品数の方が多いのに対して、アルゼンチンは量の方が多かったです。

十日間は短く感じましたが、いろいろなことを学びました。たくさんの人の協力で僕達は、安全に楽しく派遣事業を終えることができました。ありがとうございました。

顔くらい大きなビーフカツ

●森戸小５年　柿沼（かきぬま） 拓馬（たくま）

わすれられない十日間

飛行機で三十時間、日本からみて地球の真裏にあるアルゼンチン。ぼくは、どんなところなのかワクワクしながら、日本を旅立ちました。

エスコバル日本語学校では全校生徒二十人くらいの小さな学校のみんなで、ぼくたちを歓迎してくれて、うれしかったです。言葉は通じなかったけど、スポーツを通して、距離を縮めることができました。

宿泊は、ホームステイでした。アルゼンチンは、スペイン語が公用語なので、そこでは思っていることを伝えることが難しかったです。けれども一生懸命にコミュニケーションをとろうとしてくれて、やさしさを感じました。言葉が通じ合う、思ったことを伝えることがどれだけ大切か、アルゼンチンに行って初めて気がつきました。

東京オリンピック・パラリンピックでは、アルゼンチンリーダーとしてアルゼンチンの人を歓迎したいと思います。

アルゼンチンに行くという、貴重な体験をして沢山の思い出ができました。本当に心に残る十日間でした。

エスコバル日本語学校での交流の様子

お花や新鮮な野菜を買いに来ています！

温泉の後に道の駅に寄って買い物をします

埼玉県羽生市
岡川 まさえさん（左）
渋井 真紀さん（右）

レポート!!

道の駅さかい 売上（取扱高）10億円突破！

千葉県野田市
藤澤 光行さん

道の駅売上大幅増加中

平成29年度の「道の駅さかい」の売上が大幅に増加しています。

道の駅さかいの商品をふるさと納税の返礼品として活用していることが売上増加に大きく寄与している他に、飲食コーナー「さかいの台所」での新メニューの開発や、大人気の「ワンコイン（100円）で食べられるサラダバー」などメニューも豊富でリピーターも多く、人気のコーナーです。また、スーパーには並んでいないような珍しい野菜や、こだわりの商品など、行くたびに新しい発見があるのも道の駅さかいの魅力です。

さらに、現在建設中のレストランは、新国立競技場を手がけたことでも有名な隈建吾さんによるもので、さしま茶と建築物の融合が見事な設計で、いよいよ年内完成予定です。

今後も町内・外から愛される「道の駅さかい」を目指して様々なことに取り組んでいきます。進化する道の駅にご期待ください。

12/24〜1/3

イベントレポート

クリスマス・歳末感謝祭・新春初売り

道の駅さかいでは、年末年始にかけて、様々なイベントが開催されました。

12月24･25日には、クリスマスフェアを開催し、クリスマス用チキンの販売や、ガラポンくじ、サンタさんからのプレゼントなどが行われました。

12月28日･29日の歳末感謝祭では、本まぐろや、年越しそばが販売されました。

新春1月2日には、餅つき大会が行われ、お雑煮が無料で振る舞われました。また、新川囃子が縁起の良い舞を披露し、会場に華を添えました。

3日には、福袋販売や、豪華賞品が当たるガラポンくじが行われ、道の駅は多くの方で賑わいました。

サンタさんと一緒に記念写真

あつあつのお雑煮を食べる子どもたち

一生懸命餅つきをするお子さんの様子

迫力ある舞を披露する新川囃子の皆さん

その他にも道の駅の情報がたくさん！
インスタグラムで「#道の駅さかい」で検索！

interview

生産者 Voice

道の駅を支える生産者の方へ突撃インタビュー

2017年道の駅さかいアワード
最優秀賞　受賞

レタス・トマト農家
野村 亜由美さん

女性目線で彩豊かな珍しい野菜づくりに挑戦

スーパーには並んでいないような様々な種類の野菜を作って道の駅で販売し、インスタグラムで情報を発信しています！昨年より売上が上がって、昨年のアワードで最優秀賞をいただきました。ふるさと納税という新たな販路でも活用いただき、これからも新鮮な野菜を提供していきたいです！

甘味処 もちや
染谷 とし子さん

新商品から定番まで！心を込めてお作りします

白露や草餅、焼きまんじゅう、赤飯など様々な商品を販売しています。

新商品の焼きまんじゅうは、ふるさとを感じてもらえるような焼き印や、洋風にアレンジして、食べやすいように工夫しています。これからもお客様のために工夫していきたいです。

シンゲツ
飯田 佳久さん

都内からのリピーターも！道の駅から情報発信！

道の駅でうちのパンを購入したお客様が、都内から店舗までパンを購入に来てくださったこともあり、大変嬉しかったです。また、富士見プリンやシュークリームなども販売しています。道の駅を拠点に町が盛り上がっていけばと思います。

道の駅さかい限定

店長おすすめ商品！

「いちごタルト」
ホール / 2,500円（税込）
1カット / 430円（税込）
旬のいちごをたっぷり使用したタルト

「穀旨煎餅」
540円（税込）
地元の美味しいお米を使用して香ばしく揚げた新商品

「常陸牛ローストビーフ丼」
1,280円（税込）
常陸牛のロースビーフを使用した道の駅自慢の一品

キッズチェアーをご用意しています!! お子様と一緒にごゆっくりお食事をお楽しみください。

12/3

おとなもこどもも一緒に楽しめる「ファミリーコンサート」開催

境町中央公民館において、境町男女共同参画推進委員会主催のファミリーコンサートが開催されました。

出演した夫婦ユニット「ケチャップマヨネーズ？」は、作詞・作曲を夫婦で手掛け、2007 年から出張コンサートを始め、全国で 300 回以上演奏しています。

当日は 150 名以上の方が来場し、「ケチャップマヨネーズ？」の歌・イラスト・演出に心を癒され、子どもから大人まで楽しめるコンサートとなりました。

夫婦ユニット「ケチャップマヨネーズ?」　お礼の花束贈呈の様子

歌に合わせて体を動かし、楽しむ参加者の皆さん

11/13

「境町いきいきクラブ連合会」が厚生労働大臣表彰受賞

老人クラブの会員数が全国的に減少傾向にある中、「境町いきいきクラブ連合会」では、クラブ数・会員数共に増加し、増加数が全国で 1 番だった功績などが認められ、10 月 19 日に京都市のロームシアター京都にて厚生労働大臣表彰を受賞しました。11 月 13 日に橋本町長に表敬訪問に来庁されました。

表敬訪問の様子（左から橋本町長、境町いきいきクラブ連合会寺山会長、篠塚副会長、境町社会福祉協議会仲村会長）

VOICE

境町いきいきクラブ連合会
寺山　守 会長

この度平成 26 年からの地道な活動によって老人クラブ数や会員数が日本一増加した成果が認められ、このような素晴らしい賞を受賞させていただきました。これも日頃より老人クラブ活動にご尽力いただいている各老人クラブ会長をはじめ、関係各位の皆様に全面的にご協力いただいているおかげです。心より感謝申し上げます。

12/6

コレクティブ・インパクト × ふるさと納税フォーラム 2017 開催

東京国際フォーラムにて「コレクティブ・インパクト×ふるさと納税フォーラム 2017」が開催されました。

パネリストとして登壇した橋本町長は、平成 28 年 4 月に行った熊本地震の代理寄附の取り組みについて紹介し、一緒に登壇した企業や NPO 法人の方々と組織の壁を越えて、様々なふるさと納税の活用事例をもとに、災害支援・起業家支援などふるさと納税の可能性について議論を交わしました。

境町の事例を紹介する橋本町長

意見交換の様子

コレクティブ・インパクトとは？
立場の異なる組織（企業、NPO 法人など）が組織の壁を越えてお互いの強みを出し合い社会的課題の解決を目指すアプローチ。

12/2

茨城西南医療センター病院で化学災害対応訓練を実施

茨城西南医療センター病院駐車場において、化学災害を想定した対応訓練が行われました。

茨城西南医療センター病院の災害医療対策委員会を中心に、茨城西南消防本部、古河赤十字病院、晃陽看護栄養専門学校、日野自動車の方々が協力し、約 140 名が参加する大規模な訓練となりました。

訓練は、液化窒素を積載したタンクローリーとマイクロバスが衝突し、塩素汚染された多数の傷病者が発生という想定で実施され、消防隊の出動から病院への搬送、液体窒素の除染に伴う除染テントの設営や除染方法、治療の優先度を決めるトリアージの手法の確認などが行われました。

消防隊が搬送準備を行う様子

除染テントで除染作業を行う様子

12/14

境町区長会研修　境古河バスターミナル発の高速バスで成田空港を視察

境町区長会では、行政区長の皆さんに、圏央道開通による成田空港へのアクセス向上や、海外からの観光誘客に向けた今後の可能性などを研修してもらうため、境古河バスターミナル発の高速バスを利用し、成田空港を視察する研修会を実施しました。当日は 39 名の行政区長が参加し、空港職員による説明を受けた後、滑走路など通常は入ることのできない施設を見学しました。

参加者からは、「バスの利便性がよいので LCC を使って国内旅行してみたい」「一般の人が入れない空港内部を見学出来て大変よかった」などの感想がありました。

挨拶する橋本町長

境古河バスターミナルでの様子

成田空港で飛び立つ飛行機と記念撮影

12/11

「ウーマン・オブ・ザ・ワールド」植田あゆみさんが境高校で講演

昨年 9 月に中央公民館で行われた「ウーマン･オブ･ザ･ワールド」のコンサートで、境高校の生徒と共演した植田あゆみさんが、境高校の 1・2 年生を対象に講演会を行いました。

植田さんは、自らの進路に迷う世代の生徒たちへ、これまでの海外生活で、風習や文化の違いを経験し、自分の常識が変わったことや、戦争のない平和な世界への思いなどを熱く語りました。

美しく迫力ある歌声を披露

VOICE
境高校 生徒会長
鈴木　弥来さん

今日の講演を通して、民族や国によって文化や歌が全く違うということが本当に凄いと思いました。また、植田さんはいろんなことに前向きに取り組んでいる方なんだなと感じました。

私も前向きに夢に向かって取り組んでいきたいと思います。

講演会の様子

生徒からの質問を受ける植田さん

12/17

中央公民館短期講座　境町高校生会共催「パティシエになろう！」

境町中央公民館において、短期講座「パティシエになろう！」(共催:境町高校生会クローバー)を実施しました。

町内小学校全学年を対象に募集をおこない、56 名の子どもたちが参加しました。

講師の先生に作り方を教わりながら、高校生会クローバーの皆さんと一緒に、生クリームを泡立て、持参したフルーツやチョコレート等をトッピングして、世界にひとつだけのオリジナルケーキを作り、パティシエ気分を味わいました。

真剣にケーキづくりに取組む様子

ケーキ作りを見守る高校生会の皆さん

完成したケーキ

完成したケーキと記念写真

12/13

日野自動車中型バスの納車式を実施

日野自動車の中型バスが境町に納車され、バスの運行開始に当たり安全祈願のための納車式が行われました。

購入したバスは、セレガハイデッカショートで、定員 42 名乗りのバスです。このバスは今後、平成 27 年度に購入した日野自動車の大型バスと共に各種団体の研修などで使用されます。

以前使用していた大型・中型バスは売却し、町の歳入に繰り入れます。

新しい日野自動車のバスの前での記念写真

新たに納車された中型バス

安全祈願の様子

12/7

青少年健全育成さかい町民の会境支部が境小へ図書寄贈

境小学校において、図書の贈呈式が行われました。

青少年健全育成さかい町民の会境支部（鈴木壽支部長）では、10 月 14 日に行われた境小まつりにおいて、子どもたちに昔の駄菓子屋さんのようなワクワク感やお店の人とのふれあいを楽しんでもらいたいと「なつかしや」を出店しました。当日は、850 名を超える方が店を訪れ、その収益金（46,460 円）で購入した 43 冊の図書が、境小へ寄贈されました。これまでに 500 冊以上の本が寄贈されています。

境小に寄贈に訪れた青少年健全育成さかい町民の会境支部の皆さんと児童たち

12/13

町内建設業 5 社が日本赤十字社へ大口寄付

町内建設業 5 社の皆さんが、日本赤十字社へそれぞれ 10 万円を寄付されました。

寄付に訪れた皆さん（写真左から、㈱新栄開発、㈱生井土建、橋本町長、㈱新井建設工業、㈲栗原緑化土木、㈲染谷建設工業）

12/21

NPO 法人境スポーツクラブが町へ寄付

NPO 法人境スポーツクラブ（倉持貢理事長）が教育振興に役立てていただきたいと 10,076 円を寄付されました。

寄付に訪れた境スポーツクラブの皆さん

スポーツ

1/11

小河原彩花さんが第 26 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場

境町出身で新潟県の開志（かいし）学園 JAPAN サッカーカレッジに在学している小河原彩花（おがはらあやか）さんのチームが、新潟県大会および北信越大会の優勝を経て北信越代表になり、兵庫県で行われた第 26 回全日本サッカー選手権大会に出場しました。全国大会では惜しくも入賞はなりませんでしたが、2 回戦まで進出し、健闘されました。

小河原さんは、「全国大会でプレーして課題がたくさんみつかったので修正していきたいです。今後は全国制覇を目指していきます。」と力強いコメントをくれました。小河原さんの今後の更なる活躍を期待しています。

報告に来庁した小河原さん (写真左）

試合で活躍する小河原さん（写真右）

表彰

12/9

中村久夫さんが「ナイスハートふれあいフェスティバル 2017 美術展」写真部門で最優秀賞（知事賞）を受賞

県民文化センターにて授賞式が開催され、中村久夫さんが写真部門の最優秀賞（知事賞）を受賞しました。受賞後、中村さんは、「何度か走行中に見ていた案山子が季節により着替えているのを発見した時に、地域の方の案山子への思いにうっとりしまして、とっさに車を止めてパチリとシャッターを押しました。この写真で受賞を案山子に伝えたいです。」と作品への思いを語られました。

受賞後に作品とともに記念撮影

受賞作品「道端のロマン」

寄　付

12/8

絆会が町へ寄付

絆会（篠原勉会長）が、教育振興に役立てていただきたいと 30 万円を寄付されました。

寄付に訪れた絆会の皆さん

俳句

十一月十八日　境町文化協会俳句部

兼題　「冬に入る・七五三・山茶花（さざんか）」他当季雑詠

成長に はずむ賽銭 七五三　仁

※勿論、両親の努力と苦労による成長ではあるが、それにしても家族、親戚、友人知人など周囲の援助も大きい。ましてや、神仏のご加護は格別である。佳日を迎えた祖父の心情がユーモラスに描かれている。

山茶花で さえも必死に 咲くものを　光夫

※雨にも北風にも負けず部活の早朝練習の中学生が登校する。「おはようございます」の挨拶に「行ってらっしゃい」と返事をかえす。そして『ほら、山茶花も厳寒に耐えて懸命に咲いているよ。頑張れ』と、心秘かに声援を送る。

山茶花の 紅を仄（ほの）かに 朝ぼらけ　正六
振袖の 丈より長し 千歳飴　正映
ふり返り 暫し目に止む 七五三　香こ
七五三 晴れ着の息子 父となり　きよ乃
山茶花や 出番来たりと 咲き競い　雄節
どうだんの 赤きわまりて 冬に入る　みよ子
放牧の 牛小屋に帰し 冬に入る　まこ
山茶花の 散り敷き道へ 遠廻り　すみ子
冬に入る 木々の間透けて 天空（そら）青し　慶子
七五三 十指に余る 願い事　弥生
幼い手 引かれて拝む 七五三　登
拗（す）ねた顔 飴で笑顔に 七五三　ちから
冬に入る 日光連山 白衣着る　省三
七五三 社殿バックに ハイチーズ　譲一
抱き上げて 神の鈴振る 七五三　久子
七五三 ママも晴れ着で 娘（こ）に競う　信子
冬に入る 言葉すくなに 児らの列　幸子
木履（ぼっくり）に 参道ながき 七五三　きみ代

短歌

境短歌会　山鳩

街路木の 桜並木も 朽ち落ちて われら街にも 冬到来か　五月女　三枝子
不作なる 僅かに残る 柿の実を 小鳥群がり 競い啄（ついば）む　鈴木　喜与子
台風も 足早に去り 夕映えの 空に三ケ月 明日を語りて　桜井　レイ
我が家へと 急ぐ車に 伴走し 見守りくれるか 十六夜の月　斉藤　敬子
かまきりは ここで産卵 するつもり 日陽（ひなた）にとどまり お腹もふくらむ　川村　米子
蜜柑うれ たわわに目立つ庭先に 揚羽（あげは）の好みか 日ごと群れおり　風間　リヨ子
筑波嶺に かかる赤雲 一筋に 我ら青春 あの頃や浮く　川上　ヒサ
天候の 定まらぬ日々 続く中 冬至の声きく 暖かき朝　稲田　美重子
天高く 白く光りし 雲の下 犬を引きつれ 小声で唄う　飯田　俊子
さわさわと 落葉舞い散る 冬の風 今日も終るか 一年早し　松岡　美智子
紺碧（こんぺき）の 空高々と 鳶（とび）が舞う 大きな輪を描き しばし見とれる　本島　いと子

新年明けましておめでとうございます。平成も三十年になりました。「一年の計は元旦にあり」と良くいわれておりますが、今年一年の過ごし方などを自分なりに考えて見るのも楽しい事ではないかと思ったりします。お正月の月を「睦月」というのも、家族親族が仲睦まじく過ごす月という意の「睦び月」が「睦月」になったという説があるそうです。家族はもちろん周囲の方々とも仲良く明るく、寒さの中を日々過ごして行ければ幸いと思います。

“新春”ヤマハ音楽教室　生徒募集ご案内
３月＆４月の体験レッスン予約受付中
♭ 1才児のため のコース
♭ 2才児のため のコース
♭ 3才児のため のコース
♭ 4・5才児のため のコース

詳しいパンフレット・レッスンDVDを用意しています。お気軽に申しつけ下さい
音楽教室 がくえんどう
境町293-14境小学校西側 ☎87-6608

あなたの街の
仲人おばさん紹介
体験入会男女共に
3ヶ月→5,000円 ※公的書類提出可能な方
★お見合い後交際に入った場合は正式に入会手続きが必要です。

結婚相談室チャペル の代表達藤明美と申します。
真剣に結婚を考えられている方のみご相談ください。全力でお手伝いいたします。
この道19年、仲人の達人！！
今すぐ・・・完全予約制
☎0280-30-7070
〒306-0011 茨城県古河市東3-5-13 イトーヨーカドー南側

私たちに代わって町政を任せる代表者を選ぶ大切な選挙です。
棄権することなく、大切な一票を投じましょう。

境町長選挙

1月30日告示

投票日 2月4日(日)

［投票時間］
午前7時から
午後6時まで

告示日	期日前投票期間				投票日
火	水	木	金	土	日
1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4

■ 投票できる方（下記①・②のいずれも満たす方）

①平成30年1月29日現在で、引き続き3ヶ月以上境町の住民基本台帳に記載されていること。（平成29年10月29日までに転入届をし、住民票が作成されている方）

②平成30年2月4日現在で、年齢満18歳以上（平成12年2月5日までに生まれた方）の日本国民であること。

■ 開票日時と場所

◆2月4日（日）午後7時から即日開票　◆境町勤労青少年ホーム

期日前投票

投票日（2月4日）に都合により、投票できない方が事前に投票できる制度です。投票所入場券（※）をお持ちください。

投票期間　1月31日（水）～2月3日（土）
午前8時30分～午後8時

投票場所　境町役場1Fロビー　期日前投票所

※投票所入場券がお手元に届いていない場合には、身分証（免許証等）をお持ちください。

不在者投票

①指定病院や指定老人ホーム等へ入所されている方は、その病院や施設等で投票ができますので、病院長や施設長へ申し出て下さい。

②町外へ長期出張や滞在している方は、出張や滞在先の選挙管理委員会で投票できます。

③重度の障害のある方及び介護保険の被保険者証をお持ちの方で一定の要件に該当する方は、自宅等で投票用紙に記入し郵送することができます。

この制度を利用される場合は、あらかじめ郵便投票証明書の交付を受ける必要があります。

※投票用紙の請求期限は1月31日（水）までです。詳しくは、下記選挙管理委員会までお問い合せください。

境町投票所一覧　町内15投票所で投票できます！

投票所	区域
境第1投票所	住吉町1区・2区・3区・旭町1区・2区・3区・陽光台
境第2投票所	坂花町・新吉町・山神町1区・2区
境第3投票所	本船町・下仲町・上仲町・上町・宮本町 ※昨年選挙から投票所が変更となっておりますので，お間違えのないようにご注意ください。
境第4投票所	松岡町1区・2区・3区
長田第1投票所	蛇池・猿山・下砂井・栗山
長田第2投票所	西泉田・上小橋・旭化成・雇用促進住宅
長田第3投票所	長井戸1区・長井戸2区

投票所	区域
猿島第1投票所	内門本田・井草・七軒・喜五郎・山崎南・山崎北
猿島第2投票所	内門新田・染谷・大歩・中大歩
猿島第3投票所	金岡・浦向・下小橋
森戸第1投票所	伏木北部・伏木中部・伏木南部
森戸第2投票所	一ノ谷・百戸・桐ヶ作・新田戸
森戸第3投票所	若林蓮台・若林新田・若林本田
静第1投票所	塚崎1区（塚崎正面・塚崎新田・塚崎本田）・塚崎2区（塚崎六軒・塚崎上）
静第2投票所	稲尾・志鳥・横塚

お問い合せ先　境町選挙管理委員会（境町役場総務課）　☎0280-81-1300

※立候補者が定数を超えない場合は無投票となります。その場合は1月30日午後5時以降に防災無線等でお知らせいたします。

町の人口と世帯数　※平成30年1月1日現在の常住人口（前月比）

■総人口 24,324人（+19）　■男性 12,286人（+18）　■女性 12,038人（+1）　■世帯数 8,401世帯（+22）

■発行所 / 境町役場　〒306-0495　茨城県猿島郡境町391-1　Tel.0280-81-1329　■編集 / 秘書広聴課　■発行日 / 平成30年1月15日
■境町ホームページ　http://www.town.sakai.ibaraki.jp/